

第7回 日本の次世代リーダー養成塾 公開講座の聴講生を募集

全国から集まった高校生が、日本だけでなく世界を代表するさまざまな分野で活躍する人の講義を受けるサマースクール「日本の次世代リーダー養成塾」。地方自治体、学界、経済界が一体となって開催する次世代リーダー養成塾も、今夏で7回目を迎えます。

今回は、メイン会場のグローバルアリーナで開催される講義のうち、中村俊郎さんと山折哲雄さんの講義を特別公開。次世代を担う高校生に送られる熱いメッセージを聴いてみませんか。入場無料。



講師の中村俊郎さん

●日時／演題／講師
▽8月2日(月)午後1時30分〜同3時／「空想の翼で駆け現実の山野を往かん」世界遺産石見銀山に生まれ、育ち、伝える」／中村俊郎さん(中村ブレイス株式会社代表取締役)



講師の山折哲雄さん

▽8月8日(日)午前9時〜同10時30分／「親鸞と道元」人間の比較」山折哲雄さん(宗教学者)
*いずれも20分前開場
●場所 グローバルアリーナ・松本市記念道場
●対象 高校生以上
●定員 各先着30人

■申込方法 7月21日(水)午前9時から、市民活動交流室内・日本の次世代リーダー養成塾公開講座係(36)0311へ電話で申し込む

【講師プロフィール】
▽中村俊郎さん 鳥根県大田市で義肢装具を製作・提供。地元石見銀山の世界遺産登録では、「石見銀山世界遺産をめぐす会」の理事として尽力。
▽山折哲雄さん 日本の宗教学の第一人者。元国際日本文化研究センター所長。当塾の講義や質疑応答をまとめた「17歳からの死生観・高校生との問答集」など著書多数。

韓国・巨済(コジエ)島の知的障がい者施設「愛光園」の園生23人が5月17日、2泊3日の修学旅行で宗像市を訪れ、福祉施設をはじめ市民との交流を深めました。

修学旅行での市訪問は今年で7回目。同18日には、市の愛光園支援団体主催の国際交流会がグローバルアリーナで開催され、谷井博美市長をはじめ、約80人が参加しました。



交流を深めた参加者

韓国・巨済(コジエ)島の知的障がい者施設「愛光園」の園生23人が5月17日、2泊3日の修学旅行で宗像市を訪れ、福祉施設をはじめ市民との交流を深めました。

修学旅行での市訪問は今年で7回目。同18日には、市の愛光園支援団体主催の国際交流会がグローバルアリーナで開催され、谷井博美市長をはじめ、約80人が参加しました。

【参加者のコメント】
●宮崎菜月さん(福教大3年) 大学の福祉社会教育コース授業で、知的障がい者のことやハンゲルを習いましたが、実際にみなさんと接して文化の違いを感じました。これをきっかけにさらに理解を深めたいと思います。
●愛光園園長・金任順(キムインスン)さん 年を重ねるごとに交流が深まり、互いの国の輪が広がっている。わたしは高齢なので、若い人に引き継ぎ、この交流を長く続けていってほしい。(市民記者 岩元賢一)
■問い合わせ先 市民活動推進課 (36)1540



沖ノ島へ向かう「しおかぜ」

沖津宮現地大祭は、露戦争の戦没者慰霊と、これからの安全と平和を祈るために毎年5月27日に開かれる神事です。1年のうちでこの日だけ、一般男性のみが沖ノ島に上陸して参拝することが許されています。

明治38(1905)年5月27日午前5時5分に火ぶたを切った日本海海戦。戦争では、ロシア側が死者4830人、捕虜6106人、日本側が死者117人、負傷者583人の犠牲者を出しました。

当時、沖ノ島の山頂近くにある大きな木に登って眼下に展開する日本海海戦を目撃していたのが、大島在住の故佐藤市

五郎氏でした。司馬遼太郎著の「坂の上の雲」に登場する1場面ですが、宗像大社の神宝館には、その時に記された社務日記が残されています。

今年の現地大祭には、全国各地から約240人が参加。沖ノ島へ「しおかぜ」で向かいましたが、残念ながら悪天候のため沖ノ島へ渡ることができず、大島の沖津宮遙拝所で参拝することになりました。

沖ノ島近海で起こった日本の近代史に深く刻ま



沖津宮遥拝所で参拝する参加者

世界遺産への道 第19回

戦没者慰霊と安全・平和を祈願 沖津宮現地大祭

走り出したタクシー「伽耶コール」

毎月15日号で、市と姉妹都市の締結をしている韓国・金海(キム)市の広報紙を紹介しています。



市民に好評を得ている「伽耶コール」

呼び出し料金がかからず、カード支払いや現金領収書の発行が可能で、安全帰宅サービスまで提供される金海市法人ブランドタクシー「伽耶コール」。4月15日から300台が本格運行します。

3月末から10台で試験運営され、市民から好評を得ている「伽耶コール」。GPS位置推測システムと最先端コールシステム端末機、クレジットカードや交通カード決済機能などを備え、さらには女性や子どもの安全な帰宅を保障してくれるタクシーです。

また、利用客の一番近くを走っているタクシーの迅速な配車が可能。タクシーの呼び出し料金1,000ウォン(約80円)が廃止されたことで、利用客のタクシー料金負担も減りました。

加盟業者は、労使が協約を結んで顧客に対する不親切や安全運転の不履行、制服未着用など違反事項の規定を整備。違反者に対するペナルティ制度を導入するなど、顧客へのサービス提供に万全を期しています。

「伽耶コール」は、従来の地域大衆交通の枠組みを変え、新たなタクシー需要の創出につながることはもちろん、収益増大による業界経営構造改善にも大きく寄与できると期待されています。

金海市は試験運営の結果、迅速で便利なタクシーサービスの提供で利用客とタクシー業者の双方が満足していると判断。今後、利用客やタクシー業界の意見を総合的に検討し、この事業を拡大していく計画です。(金海市広報紙2010年4月12日発行から)

*この原稿は、市民サービス協働化提案制度として、平成20年度から「PARAMむなかた(福岡教育大学船津研究室から名称変更)」が翻訳しています

■問い合わせ先 市民活動交流室 (36)0311